

【1 分解説】 つみたて投資枠とは？

人財開発コンサルティング事業部 主任講師 平岡 一弘

つみたて投資枠は、2024 年からスタートした新しい NISA にある二つの投資枠の一つで、定期的に一定の金額を投資する仕組みです。2018 年からスタートした「つみたて NISA」を拡充して、非課税投資期間を無期限とし、年間投資枠を 120 万円（従来は期間 20 年で、年 40 万円）としました。

つみたて投資枠での投資は、運用利益が非課税で、少額（例えば 100 円）から定期的に自動買付けをする仕組みであるため、投資による資産形成の中核をなすことが期待されます。運用対象は、長期・積立・分散投資に適したものとして、金融庁の基準を満たした投資信託に限定されます。これは分散投資に配慮して、株式等の現物投資は認めなかったものと思われます。

2024 年 1 月 30 日現在、281 本の投資信託が投資対象になっています。内訳は指定インデックス投資信託 227 本、アクティブ運用投資信託等 46 本、上場株式投資信託（ETF）8 本です。中心となる指定インデックス投資信託の信託報酬は国内対象で上限 0.5% に対して平均 0.236%、海外対象で上限 0.75% に対して平均 0.32% と低い水準となっています。

このように、つみたて投資枠の仕組みは「長期・積立・分散」投資に適しており、解約が適宜可能なことからライフプランに応じた各種資金計画にも柔軟に対応していると考えられます。

関連レポート

・【1 分解説】「新しい NISA とは？」(2023 年 5 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/250587.html>

【参考資料】

1) 金融庁「NISA 特設ウェブサイト」

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/index.html>

2) 金融庁「つみたて NISA について」

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20170614-2/12.pdf>